

5年 流れる水の働きと
土地の変化
1/14時
「流れる水の働きについて考えよう」

本時のねらい

流域と川の様子、石の様子の関係について問題を見だし、予想や仮説を基に調べる方法を発想することができる。

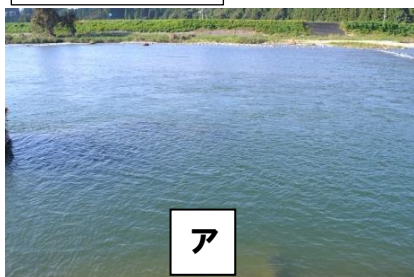
事象提示のねらい

- ・同じ川で違う流域の写真と比較させ、流れの速さ、石の大きさや形に関心を持たせ、児童に問題を見いださせる。
- ・同じ川で、流域ごとに川の様子や石の様子の違いを調べる方法を児童に発想させる。

事象提示

- ・同じ川で流域が違う3か所の川の様子（ア～ウ）と、石の様子（A～C）の写真を提示する。→㊦㊧
(景色から場所を特定させないように、なるべく周りの景色が見えない写真にする)
(川は動画、石は実物が準備できれば更によい)

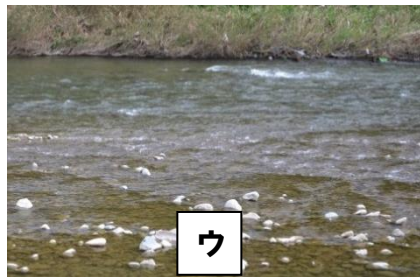
川の様子



ア



イ



ウ

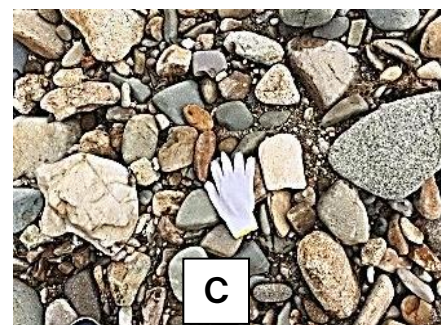
石の様子



A



B



C

疑問や好奇心を持つ

教師の働き掛け

事象提示

ア～ウの3枚の写真は、同じ日に同じ川の「山の中」「平地へ流れ出たあたり」「平地」の3か所で撮影した写真（動画）であることを伝え、差異点に気付かせる。

- ・流れの速さが違う。
 - ・深さが違う。
- <見方・考え方> 川の様子の比較

事象提示

A～Cの3枚の写真は、ア～ウの川原で撮影した石の様子であることを伝えて差異点に気付かせる。

- ・Aは石が大きい。Bは石が小さい。Cの石はAとBの間ぐらいの大きさ。
 - ・Aは角張っている石が多く、Bは丸い石が多い。
- <見方・考え方> 石の様子の比較

※石は実物を準備できると更によい。写真を使う場合は軍手に着目させ、大きさの違いに気付かせる。

